

I クロゴケグモ

【国内における確認状況】

- ・東京都内で見つかったことはない。
- ・国内では、2県（平成 27 年 6 月 3 日現在）

【生態：生息地など】

- ・日当たりが良く、地面のある広い場所であれば、コンクリート建造物や器物のあらゆる窪みや穴、裏側、隙間、管渠、アングル部分に営巣が可能である。
- ・食性は昆虫等。

【形態：大きさや特徴】

- ・体長 3～10mm, 雌は 8～10mm
- ・全体が黒色の大きな球状の腹部である。
- ・腹部には剛毛が少なく、背面の斑紋は変異が大きく、明るいすじを持ったりしている。
- ・幼生は白色・ピンク色で成長すると黒くなる。

【原産地・分布】

- ・原産地は北米中部～南米
- ・国内分布：2県（平成 27 年 6 月 3 日現在）滋賀、山口。



“ Striped Bark Scorpion (*Centruroides vittatus*) and Black Widow (*Latrodectus mactans*)” By Wyatt Berka



健康被害の具体例

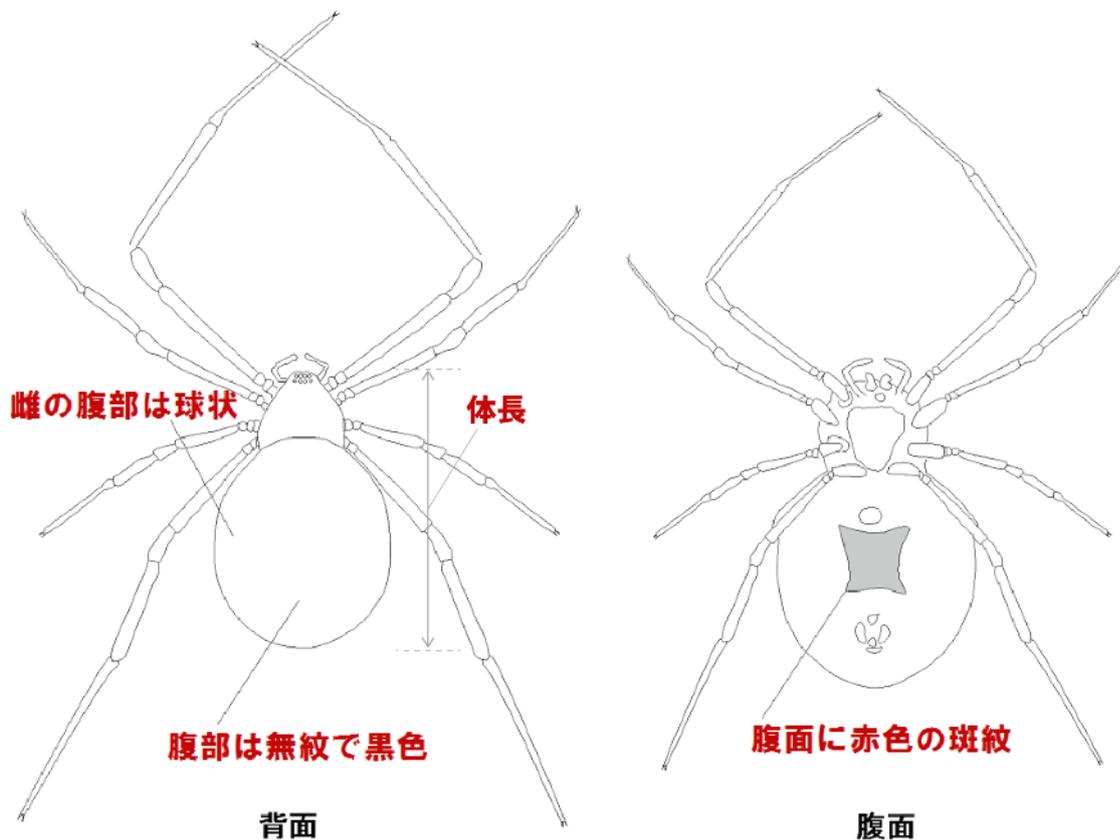
- ・刺咬により、局所の^{とうつう}疼痛、^{ねつかん}熱感、^{そうようかん}搔痒感、^{こうはん}紅斑、^{こうけつ}硬結をきたし、^{しゅちよう}区域リンパ節が腫脹する。
- ・通常は、数時間から数日で症状は軽減するが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがある。
- ・重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じる。
- ・アメリカ南部～メキシコでは被害報告が多く、アメリカでは 1726 件の咬傷例があり、55 名が死亡した。死亡率 5%という報告もある
- ・幼児や子どもの死亡率が高い。

被害を受けた場合の対処法

- ・医療機関を受診

特徴・間違えやすい類似種との識別点

【クロゴケグモの特徴】



【類似種の特徴】



類似種 (1) オオヒメグモ



類似種 (2) フノジグモ



類似種 (3) マダラヒメグモ

["Synaema globosum" By joaquinportela](#)



["Steatoda triangulosa" By promiseminime](#)



駆除方法

- ・ピレスロイド系の家庭用殺虫剤を散布する。
- ・熱湯をかける。
- ・皮膚に触れないよう靴などで踏み潰す。



危険な外来生物 Web サイトへ

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379